

# 令和2年「落花生」生育情報 (第4報)

令和2年11月13日  
千葉県農林水産部  
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。  
調査地点で収穫状況をまとめたものであり、県内全域の収量を保証するものではありません。

## 1 令和2年産落花生の作柄

各調査ほ場の収穫調査の結果は、表1のとおりです。

本年は、7月の気温や日照時間が平年を大きく下回り、降水量が多くなったことから、さや実数は平年よりもやや少なくなりました。さや実が肥大する8月は、平年と比較して気温が高く、日照時間も長くなり、粒の肥大は進みました。しかし、さや実数の減少を回復するまでには至らず、収量は平年よりもやや減少しました。また、かん水が難しいほ場では、8月の高温少雨により幼芽褐変症の発生が多くなりました。

## 2 来年の栽培に向けて、優良種子を準備しよう

今年度に収穫された「千葉半立」及び「ナカテユタカ」で、幼芽褐変が特に多く発生しています。次の写真のような幼芽褐変が見られる場合は、出芽率に影響することがありますので、次年度の落花生栽培に向けて、種子に幼芽褐変がないか確認しましょう。中度～重度の幼芽褐変が見られる場合は、種子を多めに確保してください。

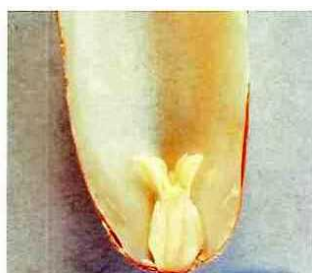
また、異型莢を除去して優良種子の確保に努めましょう。

幼芽褐変症（中・重度）の発生率（％）

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	Qなっつ
令和2年	8.5	6.0	3.3	3.0
平年値	2.1	4.0	1.4	2.0

\*発生率は、中度及び重度の合計から算出。平年値はH25年からR1年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く5か年の平均。ただし、「Qなっつ」はH28～R1年の平均値。

幼芽褐変の程度別症状



健全種子



幼芽褐変 軽度  
本葉が褐変  
出芽率9割



幼芽褐変 中度  
胚軸上部が褐変  
出芽率6割



幼芽褐変 重度  
本葉全部と胚軸上部が褐変  
出芽率1割

## 3 定期的に種子の更新をしよう

品種の特性を維持するには、種子更新が必要です。3～4年に1回程度の定期的、計画的な更新に努めましょう。

表 1 落花生収穫時調査結果（調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた）

品種名	年次	は種日	開花期	収穫日	さや実数 (個/m <sup>2</sup> )	乾燥さや実重 (g/m <sup>2</sup> )	全粒重 (g/m <sup>2</sup> )	上中実		むき実 歩合 (%)	上中実 百粒重 (g)	上中実 歩合 (%)
								粒数 (個/m <sup>2</sup> )	粒重 (g/m <sup>2</sup> )			
千葉半立	本年	5/31	7/9	10/5	226 (88%)	309 (96%)	200	228	186	63	80	91
	前年	5/31	7/17	10/14	203	260	176	209	162	67	77	92
	平年 (7年中5年平均)	5/30	7/9	10/5	256	322	225	268	207	69	77	92
ナカテユタカ	本年	5/29	7/8	9/17	218 (78%)	349 (80%)	245	269	233	70	86	95
	前年	5/21	7/3	9/23	278	462	332	348	319	72	92	96
	平年 (7年中5年平均)	5/25	7/5	9/20	281	434	307	330	293	71	87	95
おさまやり	本年	5/26	7/7	9/26	154 (73%)	294 (93%)	168	141	162	57	113	96
	前年	5/28	7/5	9/25	233	349	180	158	167	52	105	93
	平年 (7年中5年平均)	5/30	7/1	9/26	210	316	181	159	171	57	104	94
Qなつつ	本年	6/2	7/8	9/26	196 (76%)	377 (101%)	264	259	254	69	95	96
	前年	5/30	7/11	9/28	212	301	205	226	191	67	84	92
	平年 (4年平均)	5/31	7/8	9/26	259	375	256	296	242	67	80	93

\* 本年値、及び前年値は、各品種の調査結果の平均値。

\* さや実数及び乾燥さや実重の本年値の（）内は平年値との対比。

\* 平年値はH25年からR1年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く5か年の平均。ただし、Qなつつは、H28～R1年の平均値。

\* なお、H27～30年は豊作傾向であったため、過去4年間を平年値としている「Qなつつ」は他の品種と比べて、平年値との対比の数値が相対的に低くなっている。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の落花生収穫時調査結果作況(本年の値)

(調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた)

	品種名	は種日	開花期	収穫日	さや実数 (個/m <sup>2</sup> )	乾燥 さや実重 (g/m <sup>2</sup> )	全粒重 (g/m <sup>2</sup> )	上中実		むき実 歩合 (%)	上中実 百粒重 (g)	上中実 歩合 (%)
								粒数 (個/m <sup>2</sup> )	粒重 (g/m <sup>2</sup> )			
標播	千葉半立	5/20	6/30	10/7	282 (91%)	300 (77%)	158	166	133	53	80	84
	ナカテユタカ	5/20	6/28	9/16	215 (75%)	256 (63%)	166	192	158	65	82	95
	おおまさり	5/20	6/26	9/24	152 (76%)	200 (58%)	96	94	90	48	96	94
	Qなっつ	5/20	6/29	9/16	219 (74%)	289 (73%)	195	212	188	67	89	96
晩播	千葉半立	6/8	7/12	10/16	215 (81%)	344 (107%)	219	234	210	64	90	96
	ナカテユタカ	6/8	7/10	9/29	161 (55%)	267 (65%)	189	198	181	71	92	96
	おおまさり	6/8	7/10	10/8	113 (59%)	216 (66%)	122	107	117	57	110	96
	Qなっつ	6/8	7/12	9/29	166 (60%)	268 (68%)	190	207	181	71	87	95

\* 落花生研究室の「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなっつ」の栽植密度は、5,128株/10a。「おおまさり」は2,564株/10a。

\* 各品種ともにかん水せずに栽培した。

\* さや実数及び乾燥さや実重の( )内は平年値との対比。平年値はH28~R1年の平均値。